

自由研究にピッタリ！

## スイセンの毒を検査してみよう！

～イベントレポート～



8月1日(木)・2日(金)神戸市健康科学研究所にて  
小学5、6年生を対象に検査体験イベントを実施しました！

1日13組、2日12組の合計25組（同伴者含め計57名）のみなさんにご参加いただきました。

子どもたちには白衣を着てもらい、研究員として体験をスタートしました。

### ①研究所、生活科学部のお仕事とは

まずみなさんに神戸市健康科学研究所のお仕事、特に生活科学部の役割について説明しました。



スライド抜粋：生活科学部の仕事

### ②スイセンの毒の検査体験

スイセンの毒であるリコリンの抽出操作について体験していただきました。

～器具の組み立て～



まずはホモジナイザー（試料を粉碎、均質化する器具）の刃を準備。  
小さいパーツに苦戦しながら組み立てていきました。

その次にパスツールピペットにゴムをつけ、ファルコンチューブ、  
バイアルに名前を書いてもらいました。

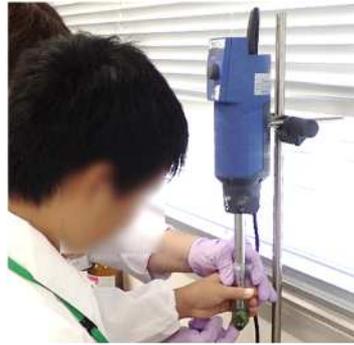
## ②スイセンの毒の検査体験

～秤量～



スイセンの葉、ニラ、スイセンの球根、玉ねぎの4種類の試料の中からスイセンだと思うものを選んで、1gを秤量してもらいました。形を観察したり、においをかいだりして真剣に選んでいました。

～抽出・遠心～



試料を量り終わったら、次にエタノールを10 mL加えました。その後、組み立てた刃を使って試料を粉碎・均質化し、遠心分離した上清をパスツールピペットを使ってバイアルにうつしました。

～機械にセット～



バイアルを機械(LC-MS/MS)にセットして、測定開始！

### ③ラボツアー

ラボツアーでは、生活科学部の使っている機械を見学してもらいました。また、ガラス器具の体験コーナーでは、分液漏斗をふってもらったり、ペーパークロマトグラフィーを体験してもらいました。



### ④展示説明

クワズイモやグロリオサ、ひょうたんなどの有毒植物とそれによく似た食べられる植物を展示し、実際に触ったり観察したりして違いを見つけてもらいました。また、顕微鏡でカビの観察もしてもらいました。所員の説明をうけ、質問したり写真を撮ったり積極的に参加してくれました。



### ⑤ミニ講座「身の回りにひそんでいる毒」

身の回りにある毒や身近な食中毒事例を紹介しました。似ている動植物のうちどちらが食べられるか、というクイズでは挙手でみなさんに答えていただき、楽しんでいただきました。

